

## 岡山県障害者（児）施設サービス自主評価結果（公表用）

施設名： デイセンターまにわ

施設所在地： 岡山県真庭市下市瀬653番地

施設種別： 生活介護

運営主体： 社会福祉法人 慶光会

管理者： 守屋 史一

評価月日： 令和3年3月31日

評価項目（中項目）	評価結果
I-1 理念・基本方針	評価： B ホームページやパンフレットにより事業指針、倫理綱領を周知している。 職員会議などで理念や基本方針を職員に伝えている。また、毎週月曜日の職員朝礼で倫理綱領を読み上げ、支援の基本を再確認している。
I-2 計画策定	評価： B 計画の策定にあたっては事業所に必要とされている課題や機能を考察し、職員の支援への思いも取り入れながら計画に反映している。
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	評価： B 支援現場の責任者などが集まる会議を開催することで、現場の課題を把握するとともに、職員の体調や悩みを把握する場としても機能している。また、そのなかでリスクマネジメントなどの共有や改善が図られている。
II-1 経営状況の把握	評価： B 福祉情勢や地域のニーズの把握などは、法人として情報収集している。事業所として必要なことについては職員間で共有し、課題認識をしている。
II-2 人材の確保・養成	評価： B 専門性の向上のため、法人全体で新任研修や職員研修を行っている。ただし、各自がキャリアアップのために外部研修に参加するということが少ないため、今後は事業所側から参加を促していくことが必要と考えられる。
II-3 地域との交流と連携	評価： B 地域の主催する行事への参加はコロナ過もあり不参加であるがボランティア等の少人数での交流、連携を図った。

評価項目（中項目）	評価結果
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	<p>評価：B            法人全体で人権擁護、虐待防止、プライバシー保護についての周知を図っている。            人権侵害や虐待については、常に情報収集を行い問題に至る前に対応できるよう努めている。</p>
Ⅲ-2 サービスの質の確保	<p>評価：B            年1回自己評価を実施して支援の振り返りを行っている。問題行動の多い利用者についてはケースカンファレンスを実施出来ているが、逆に落ち着いている利用者のケースカンファレンスができておらず、おざなりになっている現状がある。</p>
Ⅲ-3 サービスの開始・継続	<p>評価：B            見学対応の際には、作業工程を見てもらったり、希望があれば作業体験をしてもらったりと、臨機応変に対応している。疑問や質問があればその場で説明し、納得された上で契約できるよう努めている。            サービス開始の際には、契約書、重要事項説明書等を提示し、丁寧に説明を行っている。</p>
Ⅳ-1 利用者に応じた個別支援プログラム	<p>評価：B            本人、保護者との面談を通じて利用者のニーズを把握し、個別支援計画の策定を行っている。また、連絡帳を活用し日々の状況等の情報収集、提供を行っている。</p>
Ⅳ-2 日常生活支援サービス	<p>評価：B            以前は排泄介助の際に男性職員の不足から同性介助が出来ていない状況がみられていたが、現在は男性職員も補充され勤務、配置調整を行うことで改善されている。            日々の取り組みや旅行などは利用者の意見を取り入れながら計画を立てている。</p>
Ⅴ-1 生活環境の整備	<p>評価：B            利用者が快適に過ごせるよう、環境を見直し整備が必要な部分については整備を行っている。</p>
Ⅵ-1 緊急時の対応	<p>評価：B            緊急時対応マニュアルは、全職員に配布し周知を図っている。</p>
Ⅶ-1 就労意欲の醸成	<p>非該当</p>

- \* 着眼点の項目等を参考に、具体的な実施（達成）の状況や、未実施の場合はその理由など評価における根拠とともに、今後の改善計画（方針）なども記載してください。
- \* 「Ⅶ-1 就労意欲の醸成」欄は、授産施設のみが該当します。